

高圧スマート電力量メータ・EMS コントローラ間 アプリケーション通信 インタフェース仕様書

Version 1.01



改定履歴

日付	版	説明
2014/08/28	Ver.1.00 Draft	
2014/09/30	Ver.1.00	・ (第1章) IPv6 を必須、IPv4 をオプションに変更 ・ (2.2) (3.2.1) ESV のうち 0x74, 0x7A を使用する ESV から削除 ・
2023/4/21	Ver.1.01 Draft	3.2.1 項 (2) ① 通知に関して記載変更
2023/11/28	Ver.1.01	—

- ・ エコーネットコンソーシアムが発行している規格類は、工業所有権(特許, 実用新案など)に関する抵触の有無に関係なく制定されています。
エコーネットコンソーシアムは、この規格類の内容に関する工業所有権に対して、一切の責任を負いません。
- ・ この書面の使用による、いかなる損害も責任を負うものではありません。

目次

第1章 はじめに 1-1

1. 1 用語.....	1-2
1. 2 参照規格.....	1-2

第2章 アプリケーション層 2-1

2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ)	2-1
2. 2 ECHONET LITE サービス (ESV)	2-1
2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC)	2-2
2. 4 アプリケーション動作.....	2-3
2. 4. 1 連続要求.....	2-3
2. 4. 2 応答待ちタイマー	2-4
2. 4. 3 再送処理.....	2-4
2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数.....	2-4
2. 4. 5 プロパティ値書き込み要求.....	2-5
2. 5 その他.....	2-5
2. 5. 1 データ重複時の扱い.....	2-5

第3章 標準動作 3-1

3. 1 立ち上げ動作.....	3-2
3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理.....	3-2
3. 1. 2 高圧スマート電力量メータ検索処理.....	3-2
3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得.....	3-2
3. 1. 4 高圧スマート電力量メータ属性情報等取得	3-3
3. 2 定期動作.....	3-4
3. 2. 1 定時関連の計測値通知.....	3-4
3. 3 随時動作.....	3-5
3. 3. 1 定時関連の計測値取得.....	3-5
3. 3. 2 高圧スマート電力量メータ計測値取得.....	3-6
3. 3. 3 計測値履歴取得	3-7
3. 4 異常時動作.....	3-9
3. 4. 1 異常発生状態通知	3-9

目次

図 1-1	接続構成.....	1-1
図 1-2	想定ネットワークスタック.....	1-1
図 3-1	標準的な動作シーケンス例.....	3-1
図 3-2	ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例.....	3-3
図 3-3	高圧スマート電力量メータ属性情報等取得シーケンス例.....	3-4
図 3-4	定時関連の計測値通知シーケンス例.....	3-5
図 3-5	定時関連の計測値取得シーケンス例.....	3-6
図 3-6	高圧スマート電力量メータ計測値取得シーケンス例.....	3-7
図 3-7	計測値履歴取得シーケンス例.....	3-9

表目次

表 2-1	ECHONET オブジェクト (EOJ)	2-1
表 2-2	ECHONET Lite サービスコード (ESV).....	2-1
表 2-3	機器オブジェクト (スーパークラス規定)	2-2
表 2-4	機器オブジェクト (高圧スマート電力量メータクラス規定)	2-3
表 2-5	EMS コントローラの応答待ちタイマー値.....	2-4
表 2-6	高圧スマート電力量メータの応答待ちタイマー値.....	2-4

第1章はじめに

本仕様書は、UDP/IPv6 通信上で ECHONET Lite をアプリケーションプロトコルとして使用した高圧スマート電力量メータ～EMS コントローラ間のアプリケーション通信について、異メーカー間の相互接続性を担保するために必要となる事項を規定する。

本仕様は、6.6kV で供給される需要家に設置される高圧スマート電力量メータを対象としている。400V 以下で供給される需要家に設置される低圧スマート電力量メータについては、「低圧スマート電力量メータ・HEMS コントローラ間アプリケーション通信インタフェース仕様書」に従うものとする。

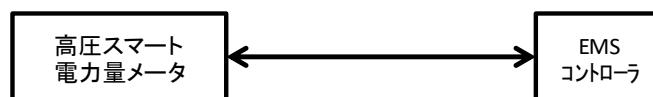


図 1-1 接続構成

図 1-2 に本仕様で ECHONET Lite を動作させるための想定ネットワークスタックを示す。UDP/IPv6 上でアプリケーションプロトコルとして ECHONET Lite を動作させる。

Application層	ECHONET Lite(アプリケーション)
Transport層	UDP
Network層	IPv6
(アダプテーション層)	(6LoWPAN*1)
MAC層	(特定のMAC層の想定なし)
PHY層	(特定のPHY層の想定なし)

*1) 伝送メディアに依る

図 1-2 想定ネットワークスタック

ECHONET Lite 通信開始前に必要となる各通信メディア固有の接続処理については、本仕様書の範囲外である。本仕様書ではこれらの通信メディア固有の接続処理が完了していることを前提とし、ECHONET Lite によるアプリケーション通信について述べる。基本は IPv6 を用いるものとし、IPv6 の搭載を必須とする。使用する伝送メディアによっては、市場動向に従い、オプションとして IPv4 の搭載も可とする。

1. 1 用語

EMS コントローラ	本仕様書では ECHONET Lite にて高圧スマート電力量メータと通信するノードを指す。
高圧スマート電力量メータ	本仕様書では ECHONET Lite にて EMS コントローラと通信し、各種電力情報を提供するノードを指す。

1. 2 参照規格

本仕様で参照する規格を以下に挙げる。本仕様書に明示的な説明がない事柄については、規格文書に従う。

[EL] The ECHONET Lite Specification Version 1.01 以降

[ELOBJ] ECHONET Specification APPENDIX: ECHONET 機器オブジェクト詳細規定
Release F 以降

第2章 アプリケーション層

アプリケーション層として、ECHONET Lite[EL]を使用する。本仕様書の記載に基づくノードは、[EL]に規定される必須機能を全てサポートしなければならない。

2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

高圧スマート電力量メータ及びEMS コントローラが搭載する ECHONET オブジェクト (EOJ) を以下に示す。

表 2-1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

	グループ コード	クラス コード	クラス名称	インスタンス コード※
高圧スマート 電力量メータ	0x02	0x8A	高圧スマート 電力量メータ	0x01
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01
EMS コントローラ	0x05	0xFF	コントローラ	0x01
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01

※インスタンスコードは 0x01 固定とする。

2. 2 ECHONET Lite サービス (ESV)

高圧スマート電力量メータ及びEMS コントローラは、表 2-2 に示される ECHONET Lite サービスコード (ESV) をサポートするものとする。

表 2-2 ECHONET Lite サービスコード (ESV)

サービスコード (ESV)	ECHONET Lite サービス内容	記号
0x51	プロパティ値書き込み要求不可応答	SetC_SNA
0x52	プロパティ値読み出し不可応答	Get_SNA
0x61	プロパティ値書き込み要求 (応答要)	SetC
0x62	プロパティ値読み出し要求	Get
0x71	プロパティ値書き込み応答	Set_Res
0x72	プロパティ値読み出し応答	Get_Res
0x73	プロパティ値通知	INF

なお、ESV = 0x60, 0x63, 0x6E, 0x74, 0x7A, 0x7E, 0x50, 0x53, 0x5E は、本仕様書に基づく認証試験は実施しない。

2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC)

高圧スマート電力量メータは、表 2-3、表 2-4に示される機器オブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) を搭載するものとする。また、ノードプロファイルオブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) については、必須プロパティのみサポートする。

表 2-3 機器オブジェクト (スーパークラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
設置場所	0x81	◎	◎	◎	
規格 Version 情報	0x82	◎	—	—	
異常発生状態	0x88	◎	—	◎	
メーカーコード	0x8A	◎	—	—	
製造番号	0x8D	○	—	—	故障や検定満了などによるメータ交換の有無を判断出来るようにするため、メーカーコードに対し機器固有となることを推奨する。
現在時刻設定	0x97	◎	●	—	
現在年月日設定	0x98	◎	●	—	
状態アナウンス プロパティマップ	0x9D	◎	—	—	
Set プロパティマップ	0x9E	◎	—	—	
Get プロパティマップ	0x9F	◎	—	—	

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外、●：搭載禁止

表 2-4 機器オブジェクト (高圧スマート電力量メータクラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
動作状態	0x80	◎	—	◎	
係数	0xD3	◎	—	—	
係数の倍率	0xD4	◎	—	—	
確定日	0xE0	◎	—	—	
積算履歴収集日	0xE1	◎	◎	—	
積算有効電力量計測値	0xE2	◎	—	—	
定時積算有効電力量計測値	0xE3	◎	—	—	
力測積算有効電力量計測値	0xE4	○	—	—	
積算有効電力量有効桁数	0xE5	◎	—	—	
積算有効電力量単位	0xE6	◎	—	—	
積算有効電力量計測値履歴	0xE7	◎	—	—	
月間最大需要電力	0xC1	◎	—	—	
累積最大需要電力	0xC2	○	—	—	
定時需要電力 (30 分平均電力)	0xC3	◎	—	—	
需要電力有効桁数	0xC4	◎	—	—	
需要電力単位	0xC5	◎	—	—	
需要電力計測値履歴	0xC6	◎	—	—	
累積最大需要電力単位	0xC7	○	—	—	
力測積算無効電力量(遅れ)計測値	0xCA	○	—	—	
定時力測積算無効電力量(遅れ)計測値	0xCB	○	—	—	
力測積算無効電力量(遅れ)有効桁数	0xCC	○	—	—	
力測積算無効電力量(遅れ)単位	0xCD	○	—	—	
力測積算無効電力量(遅れ)計測値履歴	0xCE	○	—	—	

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外

2. 4 アプリケーション動作

2. 4. 1 連続要求

高圧スマート電力量メータ及びEMS コントローラは、要求と応答を1セットとし、ひとつの要求

に対してひとつの応答を返す。要求を連続する場合は、要求に対する応答を受信後、もしくは応答待ちタイムアウト後に次の要求を行うものとする。

なお、本仕様は、1：1通信に対する規定であり、連続要求とは同一装置からの要求が連続する場合を示す。

2. 4. 2 応答待ちタイマー

EMS コントローラからの要求に対する高圧スマート電力量メータの応答における、EMS コントローラの応答待ちタイマー値は表 2-5に基づくものとする。

表 2-5 EMS コントローラの応答待ちタイマー値

パラメータ名	値	備考
応答待ちタイマー1	40[sec]以上	OPC 数1の場合 ただし、以下の EPC の場合は除く。 ・ EPC=0xE7 積算有効電力量計測値履歴 ・ EPC=0xC6 需要電力計測値履歴 ・ EPC=0xCE 力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴
応答待ちタイマー2	180[sec]以上	OPC 数2以上の場合、または以下の EPC の場合。 ・ EPC=0xE7 積算有効電力量計測値履歴 ・ EPC=0xC6 需要電力計測値履歴 ・ EPC=0xCE 力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴

高圧スマート電力量メータからの要求に対する EMS コントローラの応答における、高圧スマート電力量メータの応答待ちタイマー値は表 2-6に基づくものとする。

表 2-6 高圧スマート電力量メータの応答待ちタイマー値

パラメータ名	値	備考
応答待ちタイマー	20[sec]以上	

2. 4. 3 再送処理

高圧スマート電力量メータ及び EMS コントローラはアプリケーション (ECHONET Lite) レベルでのタイムアウトが発生した場合、同じトランザクション ID (TID) のフレームで再送しないこと。

2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数

高圧スマート電力量メータは OPC 数 11 まで、EMS コントローラは OPC 数 3 まではサポートし

なければならない。ただし、3.3.3に記載する積算有効電力量計測値履歴、需要電力計測値履歴、力測積算無効電力量（遅れ）計測値履歴のEPCを含む要求電文受信時に関しては、高圧スマート電力量メータは複数OPCをサポートしなくても良い。本項で示すOPC数の最大値は、第3章で示すメッセージの処理を行うために必要な値であり、高圧スマート電力量メータに対し、OPC数11までのあらゆるプロパティの組み合わせへの対応を要求するものではない。

OPC数が複数の要求には、要求時のEPCで指定されるプロパティの順番で応答する

2.4.5 プロパティ値書き込み要求

EMS コントローラは、SetC[0x61]要求時、[ELOBJ]で規定されているプロパティの値域外の値を設定してはならない。

高圧スマート電力量メータは、EMS コントローラからのSetC[0x61]要求を受けた場合、設定値の書き込みが完了した後にSet_Res[0x71]を応答するものとする。設定値が値域外で書き込み出来ない場合は、SetC_SNA[0x51]を応答するものとする。

このため、EMS コントローラは、Set_Res[0x71]を受信した場合、Get[0x62]による設定値の書き込み確認は不要である。

2.5 その他

2.5.1 データ重複時の扱い

EMS コントローラは、高圧スマート電力量メータから同一計測日時の定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値を重複して受信した場合、後着データを正とする。

第3章 標準動作

本章では、高圧スマート電力量メータ・EMS コントローラ間における標準的な動作を示す。本仕様書に基づき製作される高圧スマート電力量メータ及びEMS コントローラは、本章に記載された動作をサポートしなければならない。

図 3-1 に高圧スマート電力量メータ・EMS コントローラ間における標準的な動作のシーケンス例を示す。ここでは、高圧スマート電力量メータとEMS コントローラ間の下位層におけるネットワーク接続処理は完了しているものとする。

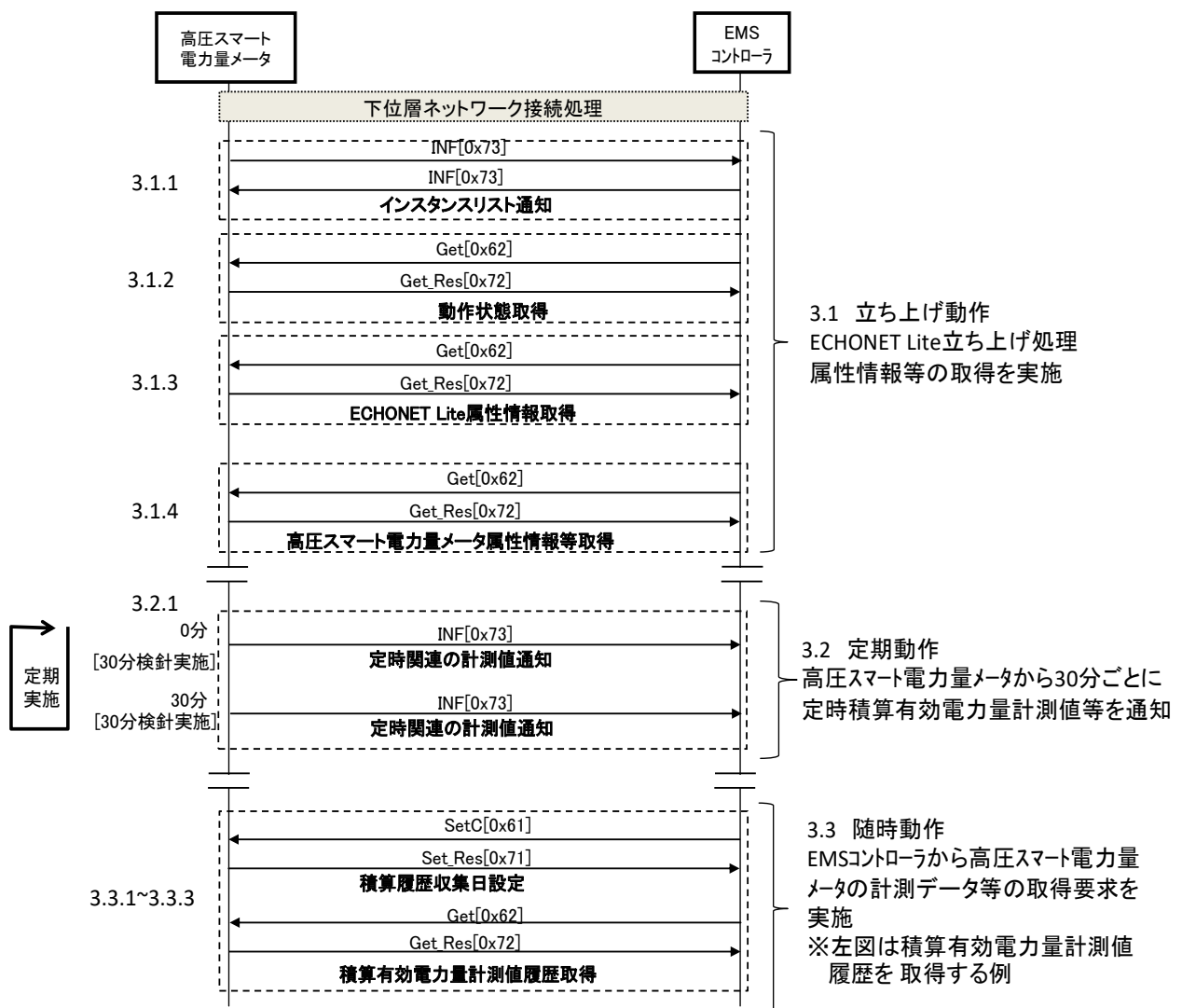


図 3-1 標準的な動作シーケンス例

3. 1 立ち上げ動作

3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理

高圧スマート電力量メータ及び EMS コントローラは、下位層のネットワーク接続が完了した後、インスタンスリストの通知を行う。

- (1) 対象プロパティ (ノードプロファイルオブジェクト)
 - ・ 0xD5 : インスタンスリスト通知

3. 1. 2 高圧スマート電力量メータ検索処理

EMS コントローラは、起動時に高圧スマート電力量メータが送信するインスタンスリスト通知を受信できなかった場合に備え、高圧スマート電力量メータを検索する処理を実施する。具体的には、DEOJ を高圧スマート電力量メータクラス (インスタンスコード:0x00)、EPC を動作状態として、マルチキャストで読み出し要求を送信する。

- (1) 対象プロパティ (高圧スマート電力量メータクラス)
 - ・ 0x80 : 動作状態

3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得

EMS コントローラは、高圧スマート電力量メータからインスタンスリスト通知を受けた後、もしくは高圧スマート電力量メータを検索した後、ECHONET Lite 通信を行う上で必要となる ECHONET Lite の属性情報を要求する。ECHONET Lite の属性情報は、必要に応じ、再取得可能とする。

EMS コントローラは、ECHONET Lite 属性情報に基づき高圧スマート電力量メータが搭載している Appendix Release 番号ならびにプロパティを確認し、高圧スマート電力量メータの搭載状況に合わせた要求を行うことを推奨する。

- (1) 対象プロパティ (高圧スマート電力量メータオブジェクト)
 - ・ 0x82 : 規格 Version 情報
 - ・ 0x9D : 状態アナウンスプロパティマップ
 - ・ 0x9E : Set プロパティマップ
 - ・ 0x9F : Get プロパティマップ

- (2) シーケンス

図 3-2 に ECHONET Lite 属性情報取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、高圧スマート電力量メータからインスタンスリスト通知を受けた後、対象プロパティ (組合せ、順序は任意) を Get[0x62]にて要求する。

② 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

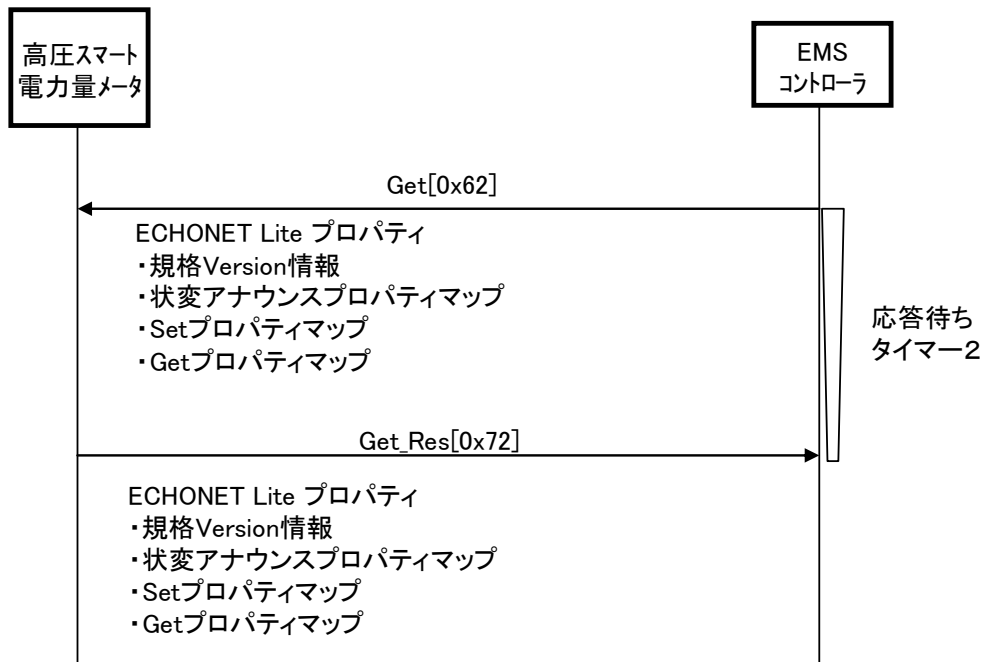


図 3-2 ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例

3. 1. 4 高圧スマート電力量メータ属性情報等取得

EMS コントローラは、高圧スマート電力量メータから ECHONET Lite 属性情報を取得した後、高圧スマート電力量メータの属性情報等を要求する。高圧スマート電力量メータの属性情報等は、必要に応じ、再取得可能とする。

- (1) 対象プロパティ (高圧スマート電力量メータオブジェクト)
- 0x8D : 製造番号 [オプションプロパティ]
 - 0xD3 : 係数
 - 0xD4 : 係数の倍率
 - 0xE0 : 確定日
 - 0xE5 : 積算有効電力量有効桁数
 - 0xE6 : 積算有効電力量単位
 - 0xC4 : 需要電力有効桁数
 - 0xC5 : 需要電力単位
 - 0xC7 : 累積最大需要電力単位 [オプションプロパティ]
 - 0xCC : 力測積算無効電力量 (遅れ) 有効桁数 [オプションプロパティ]
 - 0xCD : 力測積算無効電力量 (遅れ) 単位 [オプションプロパティ]

(2) シーケンス

図 3-3 に高圧スマート電力量メータ属性情報等取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、高圧スマート電力量メータから ECHONET Lite 属性情報を取得した後、対象プロパティ（組合せ、順序は任意）を Get[0x62]にて要求する。
- ② 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。搭載していないオプションプロパティが要求された場合、該当のプロパティについては、Get_SNA[0x52]を送信する。

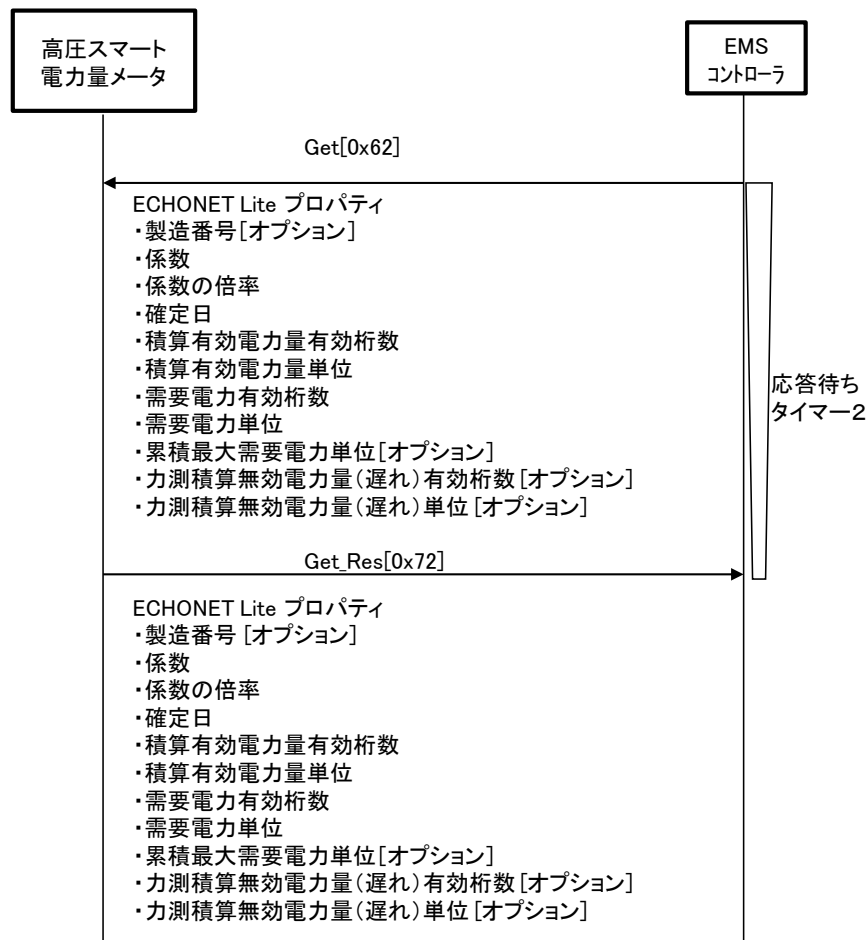


図 3-3 高圧スマート電力量メータ属性情報等取得シーケンス例

3. 2 定期動作

3. 2. 1 定時関連の計測値通知

高圧スマート電力量メータは、毎時0分、30分から5分以内に最新の定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値をEMS コントローラに通知する。

- (1) 対象プロパティ（高圧スマート電力量メータオブジェクト）
 - ・ 0xE3：定時積算有効電力量計測値
 - ・ 0xC3：定時需要電力
 - ・ 0xCB：定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値 [オプションプロパティ]

(2) シーケンス

図 3-4 に定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値に関する通知のシーケンス例を記載する。

- ① 高圧スマート電力量メータは、毎時 0 分、30 分から 5 分以内に INF[0x73] で対象プロパティ（組合せ、順序は任意）を EMS コントローラへ通知する。高圧スマート電力量メータでは、一斉同報による通知機能の搭載は必須とし、ユニキャスト通信による通知機能の搭載はオプションとする。ただし、高圧スマート電力量メータが一斉同報による通知を行うか、ユニキャスト通信の通知を行うかは、システム仕様に依存するものとする。

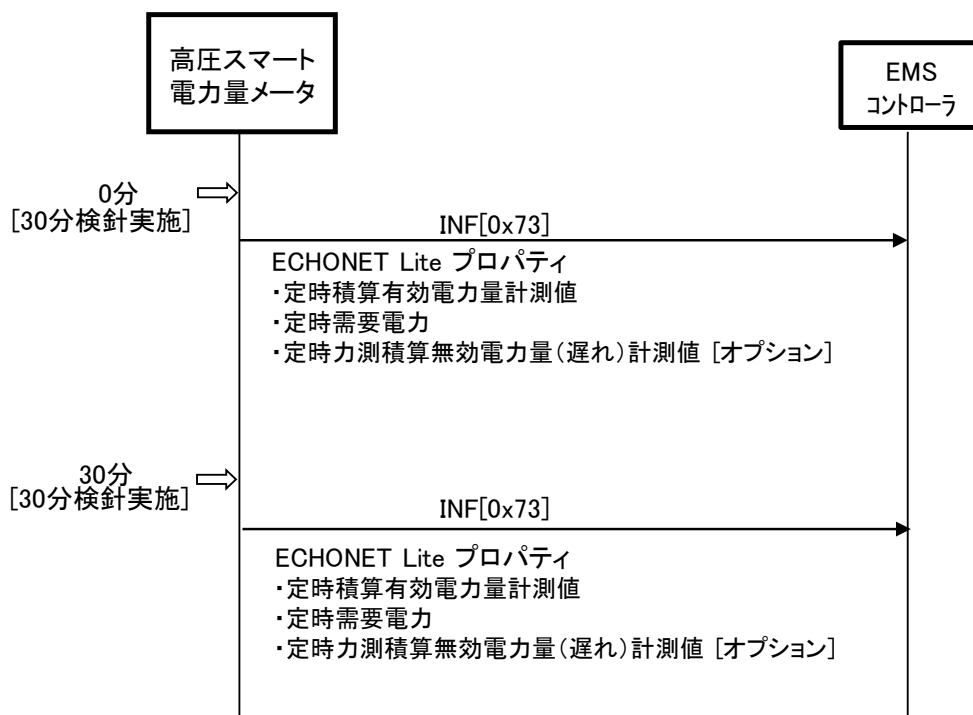


図 3-4 定時関連の計測値通知シーケンス例

3. 3 随時動作

3. 3. 1 定時関連の計測値取得

EMS コントローラは、必要に応じて定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値を高圧スマート電力量メータへ要求する。通常、3. 2. 1 に記載のとおり高圧スマート電力量メータから毎時 0 分、30 分から 5 分以内に通知されるため、一時的な通信不調等によりデータを受信出来なかった場合等の補完機能として用いる。

- (1) 対象プロパティ（高圧スマート電力量メータオブジェクト）

- ・ 0xE3：定時積算有効電力量計測値
- ・ 0xC3：定時需要電力
- ・ 0xCB：定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値 [オプションプロパティ]

(2) シーケンス

図 3-5 に定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、定時積算有効電力量計測値、定時需要電力、定時力測積算無効電力量（遅れ）計測値を受信出来なかった場合、毎時 5 分、35 分以降を目安に「定時積算有効電力量計測値」など、必要となるデータを Get[0x62] で要求する。
- ② 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72] にて該当プロパティ値を送信する。なお、異常発生状態で正常な値を応答出来ない場合は、Get_SNA[0x52] を送信する。

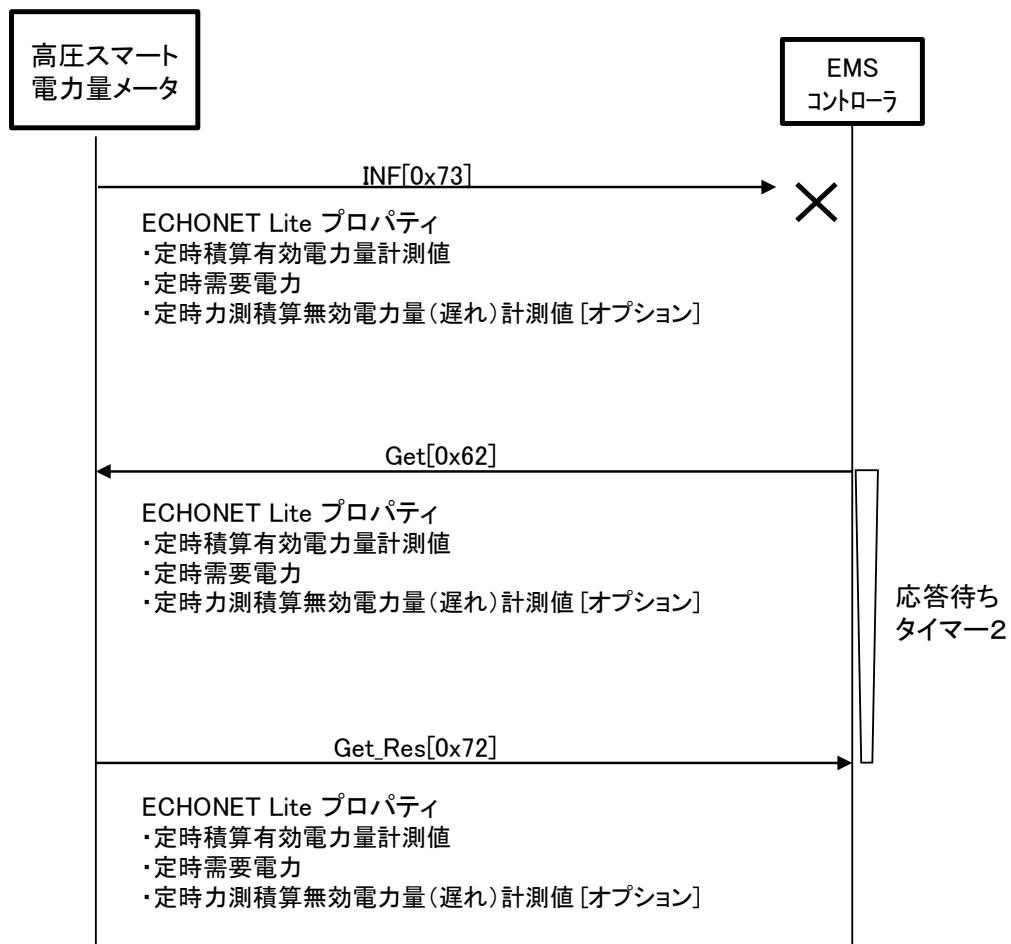


図 3-5 定時関連の計測値取得シーケンス例

3. 3. 2 高圧スマート電力量メータ計測値取得

EMS コントローラは、必要に応じて、高圧スマート電力量メータの計測値を要求する。

- (1) 対象プロパティ (高圧スマート電力量メータオブジェクト)
- ・ 0xE2 : 積算有効電力量計測値
 - ・ 0xE4 : 力測積算有効電力量計測値 [オプションプロパティ]
 - ・ 0xCA : 力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値 [オプションプロパティ]

(2) シーケンス

図 3-6 に高圧スマート電力量メータ計測値取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、対象プロパティ (組合せ、順序は任意) を Get[0x62]にて要求する。
- ② 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

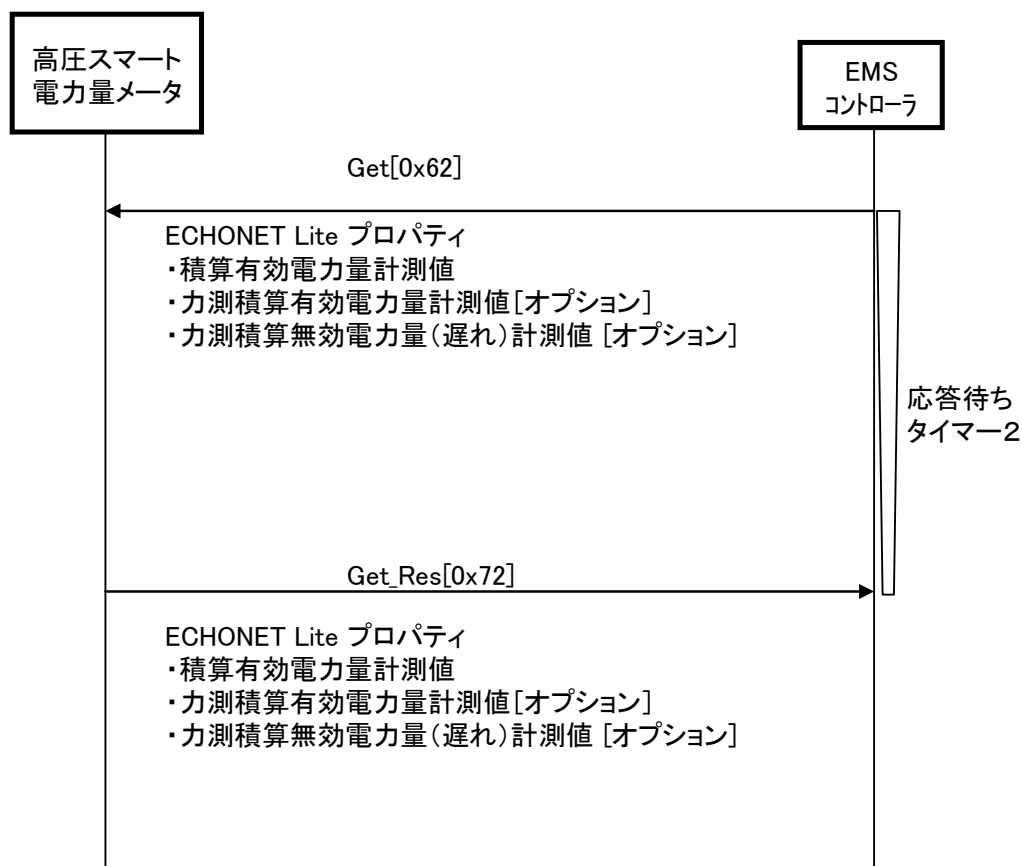


図 3-6 高圧スマート電力量メータ計測値取得シーケンス例

3. 3. 3 計測値履歴取得

EMS コントローラは、必要に応じ、積算有効電力量計測値履歴、需要電力計測値履歴、力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴を要求する。

- (1) 対象プロパティ (高圧スマート電力量メータオブジェクト)

- ・ 0xE1 : 積算履歴収集日
- ・ 0xE7 : 積算有効電力量計測値履歴
- ・ 0xC6 : 需要電力計測値履歴
- ・ 0xCE : 力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴 [オプションプロパティ]

(2) シーケンス

図 3-7 に積算有効電力量計測値履歴、需要電力計測値履歴、力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴取得のシーケンス例を記載する。

- ① EMS コントローラは、「積算有効電力量計測値履歴」、「需要電力計測値履歴」、「力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴」が必要な場合、「積算履歴収集日」に必要となる日にちをセットし、SetC[0x61]にて要求する。
- ② 高圧スマート電力量メータは、SetC[0x61]で指定された設定値 (EDT) の書き込み完了後に Set_Res[0x71]を応答する。指定された設定値 (EDT) がプロパティの値域外などにより書き込みできない場合は、SetC_SNA[0x51]を応答する。
- ③ EMS コントローラは、Set_Res[0x71]の受信を確認後、「積算有効電力量計測値履歴」、「需要電力計測値履歴」、「力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴」のいずれかを Get[0x62]にて要求する。
- ④ 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。該当時刻の計測値をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFF の値とする。なお、異常発生状態で正常な値を応答出来ない場合は、Get_SNA[0x52]を送信する。
- ⑤ EMS コントローラは、他の履歴データも必要な場合、「積算有効電力量計測値履歴」、「需要電力計測値履歴」、「力測積算無効電力量 (遅れ) 計測値履歴」のいずれかを Get[0x62]にて要求する。
- ⑥ 高圧スマート電力量メータは、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。該当時刻の電力量計測値をもたない場合は、データなしとして、0xFFFFFFFF の値とする。なお、異常発生状態で正常な値を応答出来ない場合は、Get_SNA[0x52]を送信する。

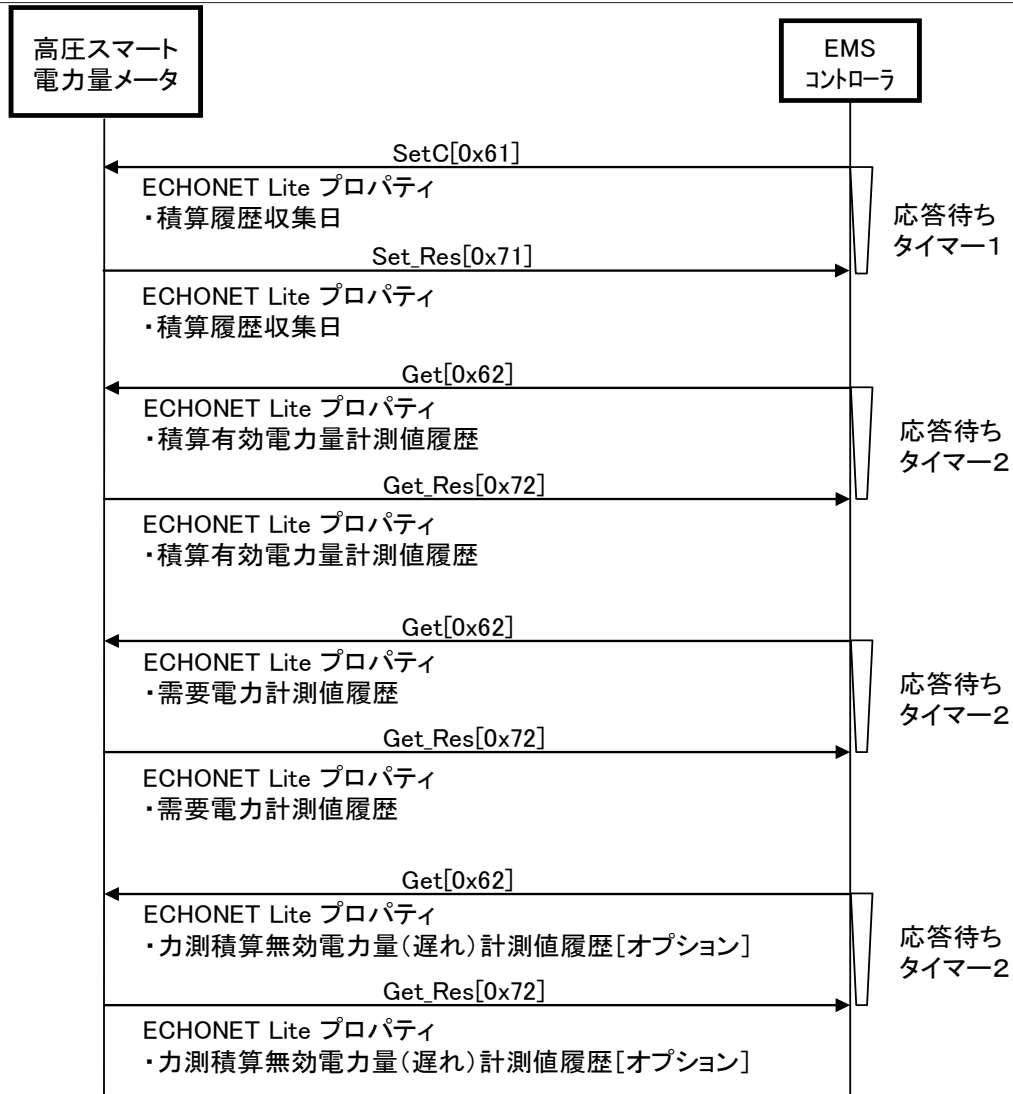


図 3-7 計測値履歴取得シーケンス例

3. 4 異常時動作

3. 4. 1 異常発生状態通知

高圧スマート電力量メータは、定時積算有効電力量計測値等を送信出来ない異常状態となった場合、異常発生状態（異常発生有）を EMS コントローラに通知する。また、異常状態から復帰した場合は、異常発生状態（異常発生無）を EMS コントローラに通知する。

異常発生中、高圧スマート電力量メータは3. 2. 1に記載の定時積算有効電力量計測値等の通知はしない。また、高圧スマート電力量メータが異常発生中における EMS コントローラの動作は規定しない。

- (1) 対象プロパティ（高圧スマート電力量メータオブジェクト）
- ・ 0x88：異常発生状態